

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価（案）（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評 価
30-1	AI 技術に基づく短期交通予測手法と総合的な交通需要マネジメントの研究開発	広島大学 准教授 力石 真	A
<p><研究の概要></p> <p>多様な交通サービス供給主体が協調する交通市場の実現に向けて、その要となる短期交通需要予測技術を開発し、開発した予測技術を下敷きとした総合的な交通需要マネジメント手法を提案する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>平成30年7月豪雨後の道路交通マネジメントを材料に、交通量等の短期予測モデルのプロトタイプを検討するなど成果をあげており、今後の研究の見通しにおいても成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存の交通行動分析に関する理論と、AI に基づくデータ解析との、棲み分けまたは連動を念頭に置きつつ、検討を進めることが望ましい。 2. 研究名にある「総合的」な交通需要マネジメント(あるいは、交通需給マネジメント)に向けて、それを意識するあまり「総花的」な研究にならないよう、また先端的な研究成果が得られるよう、留意いただきたい。 3. 多様な交通サービス提供主体間の協調という目標に向けた、交通需要(需給)マネジメント手法の提案に期待する。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。